

Q&A ~交通安全編~

Q 冬道で考えられる交通事故は？

A 凍結路面によるスリップをはじめ、車の運転中に地吹雪や激しい雪に見舞われ、対向車が見えなくなる場合があります。また、道路脇の雪山の影から突然、車や歩行者が出てくることもあるので「見えな  
いは危ない」を念頭に徐行や安全確認の徹底など注意が必要です。



◆冬道の運転に備えて

もしもに備えて、次の必需品を備えておきましょう。

○冬道の必需品

防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなど

Q 事故に遭わないために心掛けることは？

A ○歩行者の皆さんへ

- ・路面が非常に滑りやすくなっているため、安全確認も含め、ゆっくりと歩行する
- ・見通しの悪い交差点では、特に注意する

○ドライバーの皆さんへ

- ・黒っぽく見える路面の「ブラックアイスバーン」に注意する
- ・急ブレーキ、急ハンドル、急加速はしない
- ・緩い坂道も油断しないで、カーブ手前で減速する
- ・余裕のある運行計画で早めの出発などに心掛ける
- ・夏場の2倍程度の車間距離を空け、スピードを控える



下記QRを読み取るか、「訓子府町ホームページ」で検索



訓子府町ホームページ



町では、防災や災害時などの緊急を要する情報を電子メールで町民の皆さんにお知らせしています。登録方法など詳しい内容については、町ホームページをご覧ください。総務課防災危機管理係までお問い合わせください。

防災講演会を開催

~フクシマの現状と復興への道筋~

2011年3月11日14時46分に東日本大震災が発生してから10年が経ちました。地震と津波、福島原発事故を風化させないため、芝居仕立ての語りで振り返ります。

舞台は一人芝居。ラジオの公開収録をみたてて、「フクシマ」災害時の体験や現状を語るという設定。今も約3万5,000人が避難生活を強いられ、甲状腺がんなど健康被害への懸念、避難した子どもたちが偏見にさらされている現状と復興への道筋を問いかけます。

- とき 12月13日(月)19時
- ところ 町公民館多目的ホール
- 内容 「フクシマ発」劇団風の子東北 澤田 修氏
- その他 新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら開催します
- 申込み 12月10日(金)までに町公民館(☎47-2121)へ



■問合せ 総務課防災危機管理係 (☎47-2112 役場2階 窓口10番)



積雪寒冷地の訓子府町にとって、冬期間は、ほかの季節と違った自然災害や交通事故の危険があります。

暴風雪時には、気象情報に注意し、外出を控えるようにするとともに、悪天候が予想される場合は、早めに帰宅することを心掛けましょう。

さらに、ドライバーは、夏以上に路面状況に注意しながら安全運転し、歩行者も周囲の状況に十分気を配って歩きましょう。

Q&A ~暴風雪編~

Q 暴風雪による被害に遭わないためにはどうすれば良いの？

A 暴風雪時の道路状況は、極度の視界不良や吹きだまりにより、通行困難となる場合があります。被害に遭わないために、テレビやラジオ、スマートフォン、携帯電話などで最新の気象情報や道路状況などを事前に十分確認しましょう。

暴風雪時の基本は「不要不急」の外出を避けることです。やむを得ず外出するときは、天候に応じた対応を心掛けましょう。



Q 日常的に暴風雪に備えておくべきことは？

A ①停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブ、非常食、飲料水などを準備しておきましょう

②FF式暖房機などを使用している場合は、吸排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう



◆停電時の対応も重要

町では、北海道電力との情報交換・伝達を緊密にし、停電状況の把握や町広報車などによる住民周知、町内会・実践会とも連携を密にしています。

また、雪害により停電や帰宅が困難な場合などで避難が必要と判断した際は、情報を収集し、地域の避難所などへ避難してください。

⚠ こんなときは要注意

「数年に一度の猛吹雪」、「外出は控えてください」のキーワードを使った情報が発表されたら、厳重な警戒を！

■ 備蓄品リスト (例)

レトルト食品(ごはん、おかゆなど)、アルファ米	インスタントラーメン、カップみそ汁	飲料水 (1人1日3ℓ)	給水用ポリタンク	ポータブルストーブ
懐中電灯	携帯ラジオ	カセットコンロ、ポンベ	箸、紙皿、紙コップ	ティッシュペーパー
マスク	消毒液	持病の薬	防寒具	衣類
			タオル	簡易トイレ
				ビニール袋